

## 特別の教科 道徳 「手話講習会」

秦野市立鶴巻中学校



### 単元（題材）目標

- 手話の学習をすることを通して、人とのコミュニケーションの大切さを学び、相手の気持ちを理解しようと努力する態度を養う。
- 聴覚障がいを持たれる講師の方から直接手話を学ぶことで、障がいを持つ人に対する理解を深め、共に生きることの大切さを知る。

### （1）実施時期

令和2年1月24日（金）

### （2）対象（学年等・人数）

第1学年 134名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第1学年所属 6名

外部講師：市内ボランティアサークル「手話サークル秦の会」 16名

### （4）実施内容

#### ①講演

- ・聴覚障がいの体験談
- ・コミュニケーションの方法
- ・日常生活や災害時に中学生に（聴覚障がい者を助けるため）とってほしい行動

#### ②手話の実践

- ・声のかけ方
- ・手話に関する基本的知識
- ・自分の名前を手話で話す

\*講習会后、アンケートを実施し一人一人に手話体験の振り返りをさせ、今後の生活の中でどのように生かしていくか考えさせた。

### （5）成果

- 聴覚障がいを持たれる講師の方から直接手話を学び、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。
- 手話に興味・関心を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前、拍手の仕方を学べた。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- ・聴覚障がい者の人がどれだけ苦労して、手話のひらがなや漢字を覚えたのかということが分かった。聴覚障がい者の方を見かけたら、ジェスチャーなどをして話しかけたいと思う。